

工事騒音へのご理解とご協力のお願い

解体工事に際して騒音や振動には細心の注意をもって作業させていただきますが、ご協力をお願いいたします。

【騒音の対策】

- ・周囲を加工足場に防音シートを設置します。工事に伴う騒音を軽減して飛散防止の抑制とします。防音シート設置時 20m離れた場所で騒音は 40%程度減になります。



(イメージ写真)

- ・低騒音型の重機を使用して作業します。一般的な重機と比べて 30%程度騒音が減となります。発生材積込時には大きな音が出ないように作業するように作業員に教育します。



(イメージ写真)

- ・本体建物、機械解体時～完了時まで騒音計測器、振動計測器を外部から数値が見えるように設置します。騒音 85 dB 振動 75 dB を超えることのないように作業します。基準値を超えた場合作業方法を変更します。屋内では窓を閉めることで騒音の軽減になります。



(イメージ写真)

騒音レベル(dB)	程度例
140	ジェットエンジンの近く
	肉体的苦痛の限界
120	聴覚としての限界
	バイク加速時1mの距離
100	車クラクションから3mの距離
	電車のガード下
80	地下鉄内
	街頭、タイプ室
60	デパート内、普通の会話
	静かなオフィス
40	静かな住宅街のラジオ
	深夜の郊外住宅地
20	ささやき声
	呼吸の音
0	感覚の限界